

2012年度第2回運営委員会報告

フード連合会議室で行われた標記委員会の報告を下記の通り致します。

(日 時) 2012年2月1日(水) 13:00-14:20

(出席者) 江森、山田、松谷、山本(フード連合)、徳田、中野(UIゼンセン同盟)、小川、大谷(農団労) 西川、岡本(サービス連合)、中田、高田(JCC事務局)、合計12名(敬称略)

報告事項

1. 2012年IUF-A/P地域委員会の日程に関して

第1回運営委員会での決定に従い、日本からの要望をA/P地域事務局に伝えた。(第一希望:7月25日-31日、第二希望:7月4日-5日)先般地域書記より、「7月30-31日 香港にて」開催したい旨、連絡を受けている。

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

2. 2012年IUF-A/P女性委員会の日程に関して

女性委員会の新議長レベッカ女史のイニシアチブにより、下記要領による開催が予定されている。

日 程: 2012年 3月25日 セミナー(CTSWF(カンボジア観光・サービス連盟)も参加)

: 2012年 3月26日 女性委員会

場 所: カンボジア シェムリアップ。

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

3. NGOとの協働

(1) NGO・労働組合国際協働フォーラム

- 12月1日の「世界エイズ・デー」に関連し、12月16日に総評会館にて「震災・コミュニティ・HIV/エイズ」～被災地からHIV/エイズ問題を考える～をテーマに、シンポジウムを開催した。参加者人数は関係者を含めて34名。
- 3月18日から約5日間の日程で、タイのバンコク、ウボンラーチャターニーを訪れ、HIV陽性者、MSM、セックスワーカー等のグループ活動、HIV陽性者グループリーダーによる家庭訪問、NGOの現地支援活動、JILAFおよびセブンシスターズのタイ事務所訪問などの内容で、スタディーツアーを開催する。

(2) 児童労働ネットワーク(CL-Net)

- 3月14日16:00-18:00 総評会館にて、ASEED JAPANの加治知恵さんを招き、会員と賛同団体向けのクローズな研究会を実施し、エシカルケータイキャンペーン^{※注}のコンセプトや、企業へのアプローチをする方法、公開質問状を作成するまでの経緯などを共有する予定。
- CL-Net、NGO労働組合国際協働フォーラム、ILO駐日事務所の3者共催の児童労働反対世界デーに合わせたメインイベントについて、本年は6月10日に実施する。元こども兵士のミッシェル青年をゲストに、「紛争鉱物、携帯電話、子ども兵士」をテーマに、

3つの関連性を解りやすく伝える。

- ① 例年行ってきた映画の放映は、映画は適切なものがないので、今回はなしで決定。時間の短縮にもなる。これまで映画が担ってきた機能として、児童労働を感覚的に理解するという側面については前半の演劇とトークで担う。
- ② 子ども兵士の映像も若干含まれている NGO 労組国際フォーラムの児童労働チームでつくった映像(13分)を開始前の時間に流す。

(注) 私たちの身近にある様々な電子機器、カメラや携帯電話などの小型家電。それらに含まれる金属を調達する過程で様々な環境問題、社会問題が起きている。鉱物資源の採掘現場では、生物多様性の破壊や先住民コミュニティの強制退去、児童労働などの深刻な問題が生じてきた。また、採掘に絡む利権が紛争を助長させている側面もあり、採掘問題は実に多様な問題を抱えている。我々の便利な生活の裏で、今も多くの人や動物が傷ついている。こうした事実を踏まえ、採掘問題の認知を広め、採掘問題の解決を目指し、国際青年環境 NGO A SEED JAPAN は、2010年7月にエシカルケータイキャンペーンが開始された。人も動物も傷つけない「エシカル」(倫理的・道徳的)な金属調達を求め、市民・団体の賛同を募っている。また、人権、環境に配慮された金属を用いた製品をメーカーに対して求めていくために、メーカーに対し、メーカーにおける鉱物・金属調達の際の環境・社会配慮などについて質問する公開質問状を実施している。

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

4. 争議支援・連帯活動

【緊急行動要請】(データ更新中)

No.	国	当該組織・企業	内容
12	アルゼンチン	UATRE/政府	農業者社会保障制度の維持、法改正反対
13	リトアニア	LPMS/カールスバーグ	労働組合権(結社の自由、スト権)
14	ポーランド	Solidarnosc/コカ・コーラ	連帯支援(組合の弾圧)
15	グレナダ	グレナダビール	ロックアウト、役員の逮捕、団交拒否

【個別争議対応】

- ニュージーランド ANZCO 社争議の終結

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

5. 各組織報告

- フード連合:

- 1月23日中央委員会を開催、春闘方針決定。原則として連合方針に沿う。統一要求課題は5つ。①賃上げ、②一時金の安定確保、③最賃の協定化と水準引上げ、④労働時間短縮、⑤パート等の組織化と処遇改善に取り組む。公的年受給空白期間へ対応を特別課題として取り組む。
- 1月24日に第21回食品業界労使懇談会を開催、組合側30組織31名、経営側26社29名が参加。高齢者雇用安定法改正の動向、TPPの課題について有識者からの講演、春闘方針の説明等を行った。

- UIゼンセン同盟:

- 1月26日中央委員会を開催、春闘要求方針を決定した。要求水準は、35歳勤続17年で26万5千円、30歳勤続8年で25万5千円を基準に、到達と未達組織で区分する。未達組合は賃金体系維持分と合わせて、1,500円を基準にベアを要求する。各部会により若干金額は異なり、フードサービス部会は2,000円。65歳までの定年延長を共通に要求する。
- サービス流通連合との組織統合は、9月の大会で移行手続きを取ることを中央委員会で決定。

JSD 側は来年を希望していたが、UIZ の組織改革と合わせる形で年内の統合を調整しており、11 月に新組織の統合大会を目指す。

- 会費と名称が課題となっている。現在は UIZ800 円、JSD が 500 円。最終的には 800 円に統合するが、JSD 側の引上げには数年間の 3~5 年の激変緩和措置をとる予定。名称に関しては、UIZ として、少なくとも「ゼンセン」の呼称を残すことを決定した。2007 年の統合計画も、会費と名称が問題で合意できず棚上げとなっており、最後まで予断を許さない。

- 全国農団労 :

- 1 月 20-21 日春闘討論集会を開催、12 月に組合員に配布した方針の中間取り纏めを行った。2 月 10-11 日の中央委員会で正式に春闘方針・要求を決定する。定期昇給+1%程度のベア。1%のベアについては、手当等を含めた総額原資での換算。
- その他、非正規雇用（臨時職員、有期雇用、パート）の待遇改善、正職員との均等待遇（特別休暇等）。WLB として総実労働時間 1,800 時間を目指す。
- 2013 年問題への対応として、報酬比例分の引き上げに伴い、希望者の 100%継続可能を目指す。合わせて生活給不足分への対応として、水準見直しを図る。
- 1 月 13-14 日、組織内の交流会で、ニチレイ関連子会社（フード連合）からの講師を鹿児島から派遣を頂いた。

- サービス連合 :

- 1 月 27 日に中央委員会を開催。中期的な賃金目標として 35 歳で年収 550 万を設定。各組合が目標を目指した、賃金引き上げを行う。その他、総実労働時間の短縮、契約社員・パートの待遇改善、最賃の協定化に取り組む
- 60 歳以降の雇用については、法改正を見ながら継続協議することとしており、春闘での取り組みは予定していない。

6. その他

- ・ ソデッソ - IUF 国際枠組み協定締結
- ・ ビルマ FTUB 教育支援プロジェクト
- ・ パナマ IUF 新規加盟労組の登録人数に関して

【コメント・意見・質疑応答】

フード連合 : ビルマに関して、政治犯の釈放がまだ完全ではないので、大使館に要請に行きたいと「ビルマ人ホテル・レストラン労組」から要請を受けたが、連合とも確認した上で、もう少し様子を見て対応することとした。

【結論】承認された。

協議事項

1. IUF 会費・地域活動基金の徴収に関して

2012年度のIUF会費は昨年度から0.1スイスフラン値上がりし、一人当たり2.70スイスフランとなる。※2007年前回の第25回IUF世界総会で決定。来年2013年度以降の会費は、5月の第26回IUF世界総会で論議されると目される。

アジア太平洋地域活動基金は昨年同額の0.4オーストラリアドルとなる。

為替レートについては、相場トレンドと直近の数値を勘案し、スイスフランを86円（昨年88円）、オーストラリアドルを85円（昨年85円）と設定したい。

（1月31日現在 東京三菱UFJ銀行 TTS :

1スイスフラン=84.26円 1オーストラリアドル=83.14円）

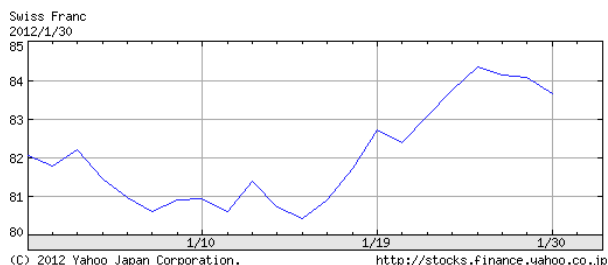
本運営委員会でご確認いただき、2月6日（月）に各加盟組織に請求書を発送させていただく。

第1四半期内の払い込みが規約によって定められているため、2月24日（金）までにIUF日本事務所会計口座にお振込みいただきたい。

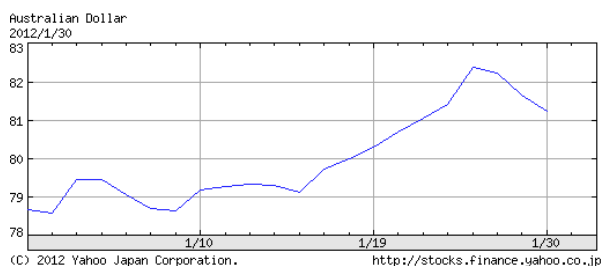
【コメント・意見・質疑応答】特になし。

【結論】原案通り CHF1=86円、AUD1=85円で確認された。

スイス
フラン



オーストラリア
ドル



第26回 IUF 世界総会

(1) 日程

- ✓ IUF 女性会議：2012年5月12-13日、ジュネーブ
- ✓ IUF 三役会：2012年5月14日、ジュネーブ
- ✓ IUF 執行委員会：2012年5月15日、ジュネーブ
- ✓ 第26回 IUF 世界総会：2012年5月15-18日、ジュネーブ

(2) 出席者の確認・募集

現段階での各組織の出席者を確認させていただく。最終的な出席者リストは3月末には確定して本部へ提出したいと考えているため、募集の一次締め切りを2月末としたい。

尚、会議通訳の費用は IUF 本部予算で賄われるが、渡航費・宿泊費等は各組織負担となる。

組織名	登録人数	代議員数
フード連合	94,000 人	7 名
UI ゼンセン同盟	50,000 人	5 名
全国農団労	12,500 人	3 名
サービス連合	11,000 人	3 名

<参考（2月現在）>

航空券：日本⇄欧州 エコノミー往復 約10万円＋燃油代約5万円

宿泊費：ジュネーブ市内 一泊約2万円程度

(3) 決議案の確認

決議案の提出は2月15日までが期限となっている。決議・声明の提案に関して、各組織でご検討願いたい。

(4) 視察団の日程に関して

世界総会終了後の視察団を検討中。英国、デンマーク、ドイツ、スウェーデン、オランダ等とは、海外労働学校の受入を頂くなど、既に一定の交流関係を築いているが、総会参加の機会を有効に利用し、欧州の IUF 加盟組織との交流を更に深めたい。今回事務局としては、フランス加盟組織（FGTA-FO、FGA-CFDT）の協力を仰ぎ、プログラムの作成・実行を検討することを提案する。

視察団への参加募集は次回運営委員会（3月8日）までに、確認させていただく。

【コメント・意見・質疑応答】

- 現時点で提出が予定されている決議案はあるか？
⇒ 事務局、加盟組織共に現時点では予定していない。
- 本部より、正式な締め切りを2月29日とする回覧があった。
- UI ゼンセン同盟：同時期にフードサービス部会が欧州視察団の派遣を計画しており、参加者20名が、世界大会初日15日の開会式への参加を予定しているため、登録をお願いしたい。

【結論】上記内容で承認・確認された。

2. 第36回 海外労働学校 募集要項

2012年6月20日～7月1日に予定している第36回海外労働学校の募集を行う。ジュネーブとスウェーデンで開催し、スウェーデン加盟組織の協力を得て、プログラムを作成・実行する。

参加費に関しては、これまで同様応募人数によって2段階に設定した。尚、現在の燃料サーチャージは変更が予測されるため、大きく変更される場合は、後日再計算して調整する。

応募締め切りは3月2日とする。

(1) プログラム案に関して

別紙プログラム案の通り、手配を進めている。

(2) 募集に関して

これまでと同様、単組の参加者の上限を2名としたい。

(3) 今後の手続きに関して

2月初旬～3月2日：募集期間

4月末：参加費の支払期限

6月13日（水）：事前準備会

6月20日（水）～7月1日（日）：海外労働学校実施

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

3. IUF 三役会に関して

2月28-29日の日程で、IUF 三役会がジュネーブにて開催される。また本三役会と合わせ、第26回 IUF 世界総会の決議委員会も開催される。

JCC として議題案の修正・追加はあるか。また、事前に議論しておくべきポイントなどについて確認を頂きたい。

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

4. IUF HRCT ホテル部門および観光部門運営委員会

3月1日にホテル部門、同2日に観光部門の運営委員会がジュネーブにて開催される。

JCC として議題案の修正・追加はあるか。また、事前に議論しておくべきポイントなどについて確認を頂きたい。

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

5. IUF 会長の来日対応

本運営委員会終了後、15時より会合が予定されている。

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

6. その他

- ・ 地域活動基金の使用に関して（HKCTU 組織化プロジェクト支援）

【コメント・意見・質疑応答】特になし。【結論】承認された。

今後の予定

- ・ IUF 三役会、総会決議委員会：2012年2月28-29日、ジュネーブ
- ・ HRCT 部会ホテルチェーン運営委員会：2012年3月1日、ジュネーブ
- ・ HRCT 部会ツーリズム運営委員会：2012年3月2日、ジュネーブ
- ・ 第3回 JCC 三役会・運営委員会：2012年3月8日
- ・ TCCC ミーティング：2012年3月28-29日、米国アトランタ
- ・ 第4回 JCC 三役会・運営委員会：2012年4月19日
- ・ IUF 女性会議：2012年5月12-13日、ジュネーブ
- ・ IUF 三役会：2012年5月14日、ジュネーブ
- ・ IUF 執行委員会：2012年5月15日、ジュネーブ
- ・ 第26回 IUF 世界総会：2012年5月15-18日、ジュネーブ

【コメント・意見・質疑応答】【結論】UI ゼンセン同盟からの提案に基づき、今後の運営委員会の日程について、14時～三役会、15時～運営委員会と、各々の開始時刻を予め仮決定した。

以上